

『基礎看護技術マスターシリーズ 第2集』

安全・安楽・自立のた めの技術理解を深める



監修・指導：岡山大学病院看護部／定価：各巻 29,000 円＋税／3 巻セット 87,000 円＋税
発行：株式会社ビデオ・パック・ニッポン／TEL：03-3405-3173

本 DVD のうち、『食事の介助』と『口腔のケア』は、患者が幼少時から身についた習慣として繰り返している「日常生活」の援助であり、『血液の検査と静脈血採血』は、看護師を目指す学生が憧れる診療の補助である。いずれも安全・安楽・自立を考え実践する技術であるため、患者に合わせた工夫が必要になる。

『食事の介助』は、①食事介助の基礎知識と②食事介助の実際で構成されていて、①は、人体の構造と機能の知識をふまえながら食事摂取に必要な機能とその評価について説明されている。特に摂食・嚥下機能に関しては、評価方法の実際と評価基準が映像で示されている。②では、食事環境の調整から食後のケアまで根拠をふまえた、安全で快適な食事の援助を学ぶことができる。同時に患者の能力を最大限に活用し介助しすぎない「自立」の視点も説明されている。

『口腔のケア』は、①口腔ケアの基礎知識、②口腔ケアの実際、③その他の口腔ケアという項目で構成されている。①では、基礎知識は経口的栄養摂取患者に限らず、学生が想像しにくい非経口的栄養摂取患者の口腔ケアの意義や方法がわかりやすい。②では、アセスメントを進めながら順序良く説明されているため、根拠をおさえながら学べる。また、学生にとって見慣れないアングルワイダー、バイトブロックなどの実物と使用目的、方

法も映像で示されていてイメージしやすい。③では車椅子や麻痺のある患者への必要な援助と義歯のケアのポイントがおさえられている。

『血液の検査と静脈血採血』は、①血液の検査の目的から始まり、②静脈血採血の基礎知識、③注射針・翼状針を用いた真空採血法、④注射針と注射器・翼状針と注射器を用いた採血法で構成されている。①②では、患者誤認防止や正確な検査結果を得るために必要な原則についてもふれている。③④では、初学者が困惑する手順をていねいに説明している。採血部位の選択で血管の走行に気を取られるところを、火傷やアトピー、乳房切除など不適切な部位について具体的な説明があり、理解がしやすい。さらに、駆血帯の巻き方をスロー再生し解説もあるため画面を見ながら思わず手元が動きそうになるくらい、臨場感がある。また、針の刃面をクローズアップし、言葉では理解しにくい細かな部分の理解がしやすい。個人防護具の脱着のタイミング、リキャップの禁止、針廃棄用ボックスの利用といった患者と看護師両者の安全を意識し、準備から片づけを根拠から学べる。

この3つの DVD は、学生が理解しやすい構成の工夫だけでなく、患者の援助を行うためには、状態をアセスメントする必要性と患者の自立を目標に理解と協力を得る必要性を学ぶことができる秀逸の映像教材である。